

地域主体の持続的まちづくり活動の動向と特性 その8

日大生産工(院) ○池田 直輝 同 杉田 悠登
大和ハウス工業 井出 綾香 福岡大学 野田 りさ 日大生産工 北野 幸樹

1. はじめに

本研究は前稿「地域主体の持続的まちづくり活動の動向と特性 その7」に引き続く研究である。前項では、地域居住者を対象に調査を実施し、地域居住者のまちづくりに対する評価や自治体と活動組織、居住者の三者の情報源、地域交流や居住者間交流の状況などの観点から比較することで、地域居住者のまちづくりに対する傾向的特性について知見を得た。

本稿では、地域居住者の生活、まちに対する意識や現状を把握し、物理的環境と社会的環境の2つの環境要因と地域居住者のまちへの意識の相補的關係を分析し、地域に対する大切にしたい想いの形成過程、地域主体の持続的まちづくり活動の傾向的特性について整理し、環境要因と地域への大切な想いの形成の相補的關係と今後のまちづくり活動の展望を報告する。

2. 調査概要

調査対象は、地域主体のまちづくり活動の持続性に関して、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、長野県の1都7県の各市区町村内でまちづくり活動組織に支援を実施している地域を対象としている。その中で、国勢調査より15年間の人口が減少傾向にあり、空き家が増加傾向にある地域の居住者を調査対象とする。

調査方法は、対象地域で活動している自治体にメールにて依頼をし、承諾を得られた自治体に郵送にてアンケートを送付し、それぞれの居住者にアンケート用紙を用いて回答を得る方法で調査を実施した。

表1 調査対象と回収率

対象市区町村	配布数(件)	回答数(件)	回収率(%)
千葉県千葉市	220	28	12.7
埼玉県杉戸町	140	28	20.0
茨城県那珂市	100	64	64.0
茨城県常陸大宮市	50	9	18.0
全体	510	129	25.3

表2 アンケート調査項目

アンケート調査項目	
NO.1	回答者について 性別/年齢/居住地/居住年数/家族構成/居住形態/職業/移動手段(普段の) 通勤通学先/通勤通学手段/通勤通学時間
	お住まいの地域について 地域交流の認知度/地域交流の参加状況/参加理由/活動状況/交流頻度 地域交流関心度/参加意欲/参加頻度/地域交流の要望/意識変化
NO.2	まちづくり活動について まちづくり活動の認知度/活動内容/活動参加度/意識変化 まちづくり活動の要望/まちづくり活動評価
	地域コミュニティについて 定住意識/定住理由/所属意識/お気に入りの場所の有無/愛着度/交流頻度 交流詳細/交流人数/関係性/交流満足度/今後の交流意欲/意見
NO.3	回答者生活時間について 平日生活時間/休日生活時間

3. 地域を大切に想う感情と居住年数

図1より地域を大切に想う感情は46.7%があると回答し、「ない」「全くない」と回答した人は1.6%、4.0%となった。

次に図2より、地域を大切に想う感情がある人ほど、居住年数が長くなる傾向が読み取れる。居住年数が長い人ほど物理的環境や社会的環境に接する機会が多く、地域を大切に想う感情の形成に大きな影響を与えると考えられる。

一方で、居住年数が短い居住者にとっても地域を大切に想う感情を持つ人は一定数いることから、居住年数は地域を大切に想う感情形成の要因の一つにもなる。しかし、地域を大切に想う感情がある人でも居住年数が短い人がいることから、地域に長く住むだけでは地域を大切に想う感情は高まらないことも示唆される。

以上のことより地域を大切に想う感情がある人ほど居住年数が長くなることが把握でき、地域を大切に想う感情がある人でも居住年数が短い人がいることから、長く居住すること以外にも地域を大切に想う感情が形成されていることが考えられる。

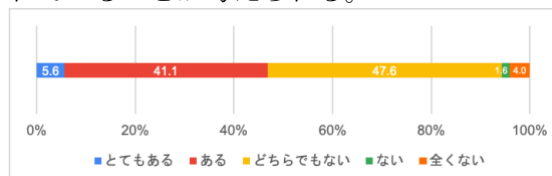


図1 地域を大切に想う感情 (n=124)

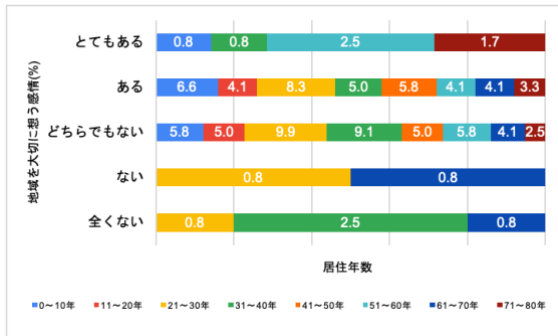


図2 地域を大切に思う感情と居住年数 (n=121)

4. 地域を大切に思う感情と環境要因

地域を大切に思う感情が物理的環境と社会的環境の2つの環境要因と、どのような相補的な関係にあるのかを考察していく。

図3の地域を大切に思う感情とお気に入りの場所の有無の場所の有無より、地域を大切に思う感情がある人ほど、特定のお気に入りの場所や空間がある人が多い傾向が把握できる。一方で地域を大切に思う感情がある人においても、お気に入りの場所や空間がない人もいることも把握できる。

図4の地域を大切に思う感情と居住者間交流より、地域を大切に思う感情がある人ほど居住者間交流が多いことが把握できる。一方で、地域を大切に思う感情がない人は、居住者間交流が「ない」「全くない」の回答のみとなっており、居住者間交流が地域を大切に思う感情の形成に及ぼす影響は大きいと考えられる。

以上のことより、地域を大切に思う感情の有無は、お気に入りの場所や空間といった物理的環境が、地域を大切に思う感情の形成に多大な影響を及ぼすものではないと考えられる。また、居住者間交流などの社会的環境の方が物理的環境よりも、地域を大切に思う感情の形成に影響を与えやすいことが考えられる。

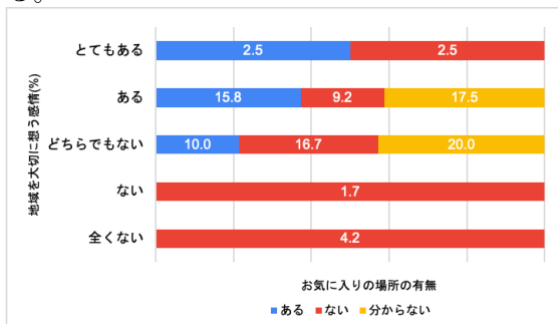


図3 地域を大切に思う感情とお気に入りの場所の有無 (n=126)

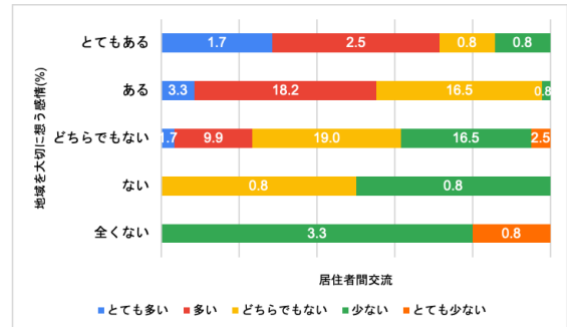


図4 地域を大切に思う感情と居住者間交流 (n=126)

5. 地域を大切に思う感情と定住意識

図5の地域を大切に思う感情と、地域の一員と感じるか、定住意識の相補的関係を考察していく。

地域を大切に思う感情がある居住者は、地域の一員と感じ自覚している人が多い傾向が把握できる。地域を大切に思う感情がない人は地域の一員と感じている人がいないことが把握できる。

また、図6より地域を大切に思う感情がある居住者は「今後も住み続けたい」と回答した人が多い傾向が把握できる。一方で、地域を大切に思う感情が全くない人は、定住意識が全くないことも把握できる。

図7の交流者との関係性より、交流者との関係性は隣家や友人が62.7%あり、地域を大切に思う感情が形成される範囲は、隣家や近所といった生活圏内で発生していると考えられる。また、生活圏内においては立ち話や訪問、おすそ分けなどの交流が活発になることから生活圏内での社会的環境は重要な要素の一つであると考えられる。

以上のことより、隣家や近所での居住者間交流が発生しやすい社会的環境を大切にすることで地域を大切に思う感情が形成され今後も住み続けたいといった定住意識に結びついていくものだと見える。

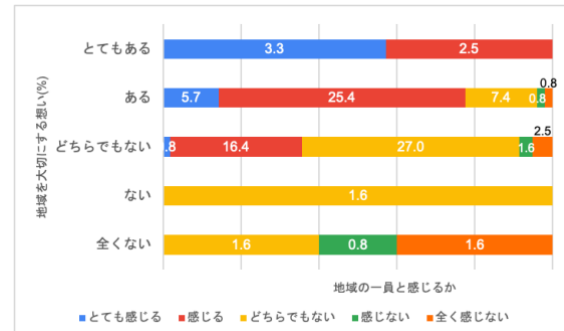


図5 地域を大切に思う感情と所属意識 (n=122)

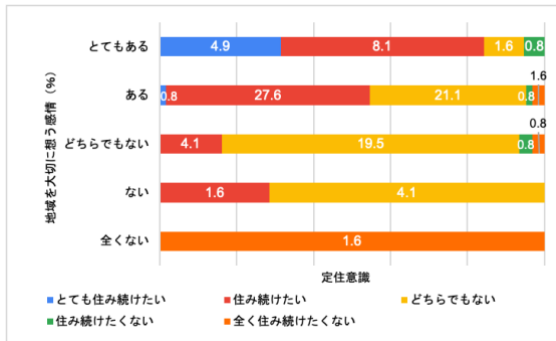


図6 地域を大切に想う感情と定住意識 (n=123)

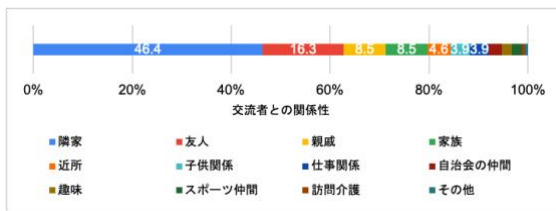


図7 交流者との関係性 (n=153 複数回答)

6. 地域を大切に想う感情と地域交流

地域でのお祭りやイベント等の地域交流認知度とまちづくり活動の参加経験の有無について図8に示す。

図8より、お祭りなどの地域交流を認知している人は、まちづくり活動の参加経験がある人が多い傾向が把握できる。一方で、お祭りなどの地域交流が全くない人は、まちづくり活動に参加経験がない人しかいないことが把握できる。

以上のことより、お祭りやイベントなどの地域交流を認知している人ほど、まちづくり活動に参加しやすい傾向が示唆される。また、図9より地域居住者の情報源は居住者間交流や回覧版といった小さなコミュニティから情報を入手していることが把握できることより、居住者間交流などの小さなコミュニティでの交流を促進させることも重要な要素であると考えられる。

次に、生活時間内における活動発生量を表3に示す。交際は13時以降の午後に活発になる。一方で、ラジオ体操やクラブなどのスポーツは6時から12時の午前中に活動発生量が大きくなる。また活動発生量が大きくなる時間帯に居住者間交流や、交流を通して地域情報の交換が促進され、地域を大切に想う感情の形成される要因と考えられる。

以上のことより、スポーツクラブなどのイベントやクラブなどを設けていくことにより、活動がより活発になり居住者間交流を促

進させていくことに繋がっていくと考える。

また、対象地域の自治体の支援内容を表4に示した。支援内容は主に金銭的支援が多くその他の支援においても人的支援などが多く、実施している支援は地域を大切に想う感情形成と関係ないと考えられる。そのため、自治体やまちづくり活動団体には、新たに居住者間交流を促進させるようなイベントやクラブ設営の支援をしていくべきだといえる。

以上のことより、居住者間交流や地域交流といった社会的環境が地域を大切に想う感情の形成すると同時に、まちづくり活動の認知とまちづくり活動の参加へと結びつけるものだといえる。

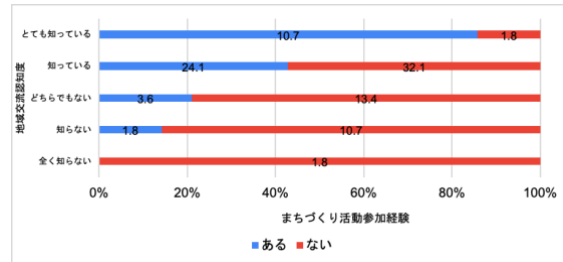


図8 地域交流認知度と活動参加経験

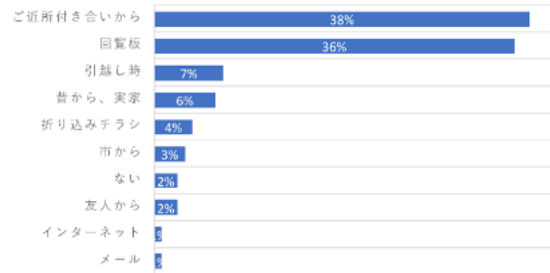


図9 地域居住者の情報源

表3 活動発生量

全体	交際				スポーツ			
	合計	平均	人数	時間	合計	平均	人数	時間
5:00~5:30	-	-	-	-	1	30	1	30
5:30~6:00	-	-	-	-	2	60	1	30
6:00~6:30	-	-	-	-	10	300	1	30
6:30~7:00	-	-	-	-	5	150	1	30
7:00~7:30	-	-	-	-	4	120	1	30
7:30~8:00	-	-	-	-	3	90	1	30
8:00~8:30	-	-	-	-	1	30	1	30
8:30~9:00	-	-	-	-	7	210	1	30
9:00~9:30	-	-	-	-	13	390	1	30
9:30~10:00	-	-	-	-	14	420	1	30
10:00~10:30	-	-	-	-	56	1680	1	30
10:30~11:00	2	60	1	30	56	1680	1	30
11:00~11:30	2	60	1	30	58	1740	1	30
11:30~12:00	-	-	-	-	51	1530	1	30
12:00~12:30	-	-	-	-	3	90	1	30
12:30~13:00	-	-	-	-	3	90	1	30
13:00~13:30	2	60	1	30	4	120	1	30
13:30~14:00	2	60	1	30	4	120	1	30
14:00~14:30	6	180	1	30	5	150	1	30
14:30~15:00	6	180	1	30	5	150	1	30
15:00~15:30	10	300	1	30	4	120	1	30
15:30~16:00	10	300	1	30	4	120	1	30
16:00~16:30	4	120	1	30	9	270	1	30
16:30~17:00	4	120	1	30	7	210	1	30
17:00~17:30	2	60	1	30	6	180	1	30
17:30~18:00	2	60	1	30	7	210	1	30
18:00~18:30	-	-	-	-	3	90	1	30
18:30~19:00	-	-	-	-	2	60	1	30
19:00~19:30	2	60	1	30	3	90	1	30
19:30~20:00	2	60	1	30	2	60	1	30
20:00~20:30	-	-	-	-	6	180	1	30
20:30~21:00	-	-	-	-	7	210	1	30
21:00~21:30	-	-	-	-	-	-	-	-
21:30~22:00	-	-	-	-	-	-	-	-
22:00~22:30	-	-	-	-	-	-	-	-
22:30~23:00	-	-	-	-	-	-	-	-

表 4 自治体支援内容

	資金的支援	その他
埼玉県杉戸町	・ みんなでつくるまちづくり支援金	—
千葉県千葉市	—	・ NPO法人設立説明会開催 ・ まちづくり団体への寄附金支援制 ・ 千葉市民活動支援センターでの支
茨城県那珂市	・ 地域まちづくり交付金 ・ 地域まちづくり人材育成支援補助金制度	・ 市民活動支援事業 ・ 市民活動保証制度 ・ 自治活動施設建設費等補助 ・ まちづくりリーダー養成講座
茨城県常陸大宮市	・ 地域創生まちづくり事業補助金 (補助対象事業) ・ 地域づくり事業 ・ 生活の基盤づくり事業 ・ 賑わいのまちづくり事業 ・ 観光資源整備事業 ・ お祭り等開催事業 ・ 伝統文化継承事業 ・ 市民交流活動事業	—

7. まとめ

本研究で得られた地域居住者を大切に想う感情形成の傾向的特性を以下に整理する。

(1) 地域を大切に想う感情と居住年数

地域を大切に想う感情がある人ほど居住年数が長くなるのが把握できた。地域を大切に想う感情がある人でも居住年数が短い人がいることから、長く居住すること以外にも地域を大切に想う感情が形成されていることが示唆される。単に時間の経過だけでは、地域を大切に想う感情形成に影響を与えずらく、時間の経過よりも地域交流との関わりの深さといった、社会的要因の方が地域を大切に想う感情の形成がしやすいと考える。

(2) 地域を大切に想う感情と環境要因

地域を大切に想う感情がある人も、お気に入りの場所や空間がない人がいること、地域を大切に想う感情がある人ほど居住者間交流が多いことから、地域を大切に想う感情の有無は、場所や空間といった物理的環境から起因するものではなく、居住者間交流などの社会的環境の方が、地域を大切に想う感情形成に寄与しやすいといえる。自治体やまちづくり活動組織には居住者が参加型の多種多様な体験や経験ができるようなイベントや地域交流を開催、実施していくことが求められる。

(3) 地域を大切に想う感情と定住意識

地域を大切に想う感情がある居住者は定住意識が高い人が多い傾向が把握でき、一方で地域を大切に想う感情が全くない人は、定住意識が全くないことが把握できた。

地域居住者に対して社会的環境に触れる機会を多くしていくことにより、地域を大切に想う感情形成を促し、所属意識や定住意識に結びつけることが持続的なまちづくりの重要な要素となる。

(4) 地域を大切に想う感情と活動発生量

お祭りなどの地域交流を認知している人は、まちづくり活動の参加経験がある人が多い傾向が把握できる。一方で、お祭りなどの

地域交流が全くない人は、まちづくり活動に参加経験がない人しかいないことが読み取れる。

以上のことより、お祭りやイベントなどの地域交流を認知している人ほど、まちづくり活動に参加しやすい傾向が示唆される。

また生活時間よりスポーツや交際といった活動発生量が大きくなる時間帯で地域を大切に想う感情が形成すると考えられる。

(5) 持続的なまちづくりに向けて

日本での今までのまちづくりは、公共施設やインフラ、建築物といった物理的環境の整備が重点的に実施されてきた。しかし、本研究から物理的環境や居住年数などは地域を大切に想う感情形成の一因になるが、居住者間交流や地域交流といった社会的環境など、地域との関わりの深さが地域を大切に想う感情形成の大きな影響を与えることが把握できた。

以上のことより、今後のまちづくりでは地域の居住者の密な交流を充実させていくことが重要であるといえる。具体的には、お祭りやイベントの実施などといった、居住者が多種多様な体験や経験ができる参加型のまちづくりの実施である。居住者間での交流を促進させ、地域を大切に想う感情が高まることで地域の所属意識と定住意識が大きくなり、まちづくり活動や地域交流といった地域に対して協力的になり、持続的なまちづくりに寄与していくといえる。

参考文献

1. 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性, 第 51 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 531~534, 2018. 12
2. 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 2, 第 52 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 427~430, 2019. 12
3. 江田貴史, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 3, 第 53 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 397~400, 2020. 12
4. 江田貴史, 鶴巻愛瑠, 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 4, 第 54 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 551~554, 2021. 12
5. 鶴巻愛瑠, 江田貴史, 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 5, 第 54 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 555~558, 2021. 12
6. 鶴巻愛瑠, 池田直輝, 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 6, 第 54 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 469~472, 2022. 12
7. 池田直輝, 鶴巻愛瑠, 井出綾香, 野田りさ, 北野幸樹: 地域主体のまちづくり活動の動向と特性その 7, 第 54 回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 473~476, 2022. 12
8. 日本建築学会「地域継承空間・都市持続形成システム調査報告書」(2009)
9. 日本建築学会「私の考える日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト」(2009)
10. 日本建築学会「日本のサステイナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト」